



椎の木

令和8年度5月号

朝霞市立朝霞第八小学校

〒351-0012 朝霞市栄町5-1-4 1

TEL:048-465-8381

校長 岩崎 英雄

【目指す学校像】豊かな心で児童に未来を生き抜く力を育てる学校

心を変え、行動を変え、習慣を変える

まもなく「立夏」を迎え、校庭の木々も新緑が鮮やかに生える季節となりました。春らしく、暖かな日差しの日が多くあった4月でしたが、半袖シャツだけで過ごせるほどの日もあれば、上着が必要な日があったりと、衣服と体調管理に戸惑う4月となりました。保護者や地域の皆様におかれましては、風邪など引かぬよう、引き続き体調管理にも十分お気を付けいただければと存じます。4月ですが、1年生も本格的に給食や清掃活動もスタートし、担任はもちろん、補助の先生や6年生にお手伝いをしてもらいながら自分たちで、様々な活動に一生懸命に取り組んでいる姿が見られます。5月も更に多くの活動や学びを「楽しく」取り組んでほしいと思っています。

さて、今年度の始業式で、子供たちに「心が変われば行動も変わる」という内容の話をしました。



1年生 交通安全教室

心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる

この言葉は、読売ジャイアンツやニューヨークヤンキースで活躍した松井秀喜選手が、星稜高校時代に野球部の山下監督から送られ、座右の銘にしている言葉として、有名になりましたので、御存知の方も多いと思います。(実際には、「人格が変われば運命が変わる 運命が変われば人生が変わる」と続きますが、子供たちにはこの部分は話していません。) もともとは、アメリカの哲学者であるウィリアム・ジェームズの言葉ですが、野球の野村克也さんやサッカーの中村俊輔さんもこの言葉について述べています。始業式では、『例えば、今まで「忘れ物」が多かった人が、これまでと同じ気持ちで過ごしていたら、忘れ物は減りますか？ 今年、「忘れ物をしない」と気持ちを新たに生活していかななくてはなりません。そして、毎日連絡帳を見て、時間割をそろえる、というように行動に表していくと、習慣も変わってきます。習慣というのは、毎日それをするのが自然と身に付くということです。最後にあった「習慣が変われば、人格が変わる。」は、少し難しい言葉ですが、人格というのは「ひとがら」や「人間性」ということです。つまり、態度や行動が変わり、習慣が変われば、人としていい人になれるということです。』と話しました。全校児童に向けて話しているので、できるだけ低学年にも理解できるように心がけてはいますが、是非、家庭でも触れていただけると嬉しいです。その中で、生活のリズムが少し崩れてしまっている子、学習習慣がなかなかできない子、あまり運動ができていない子、ゲームやテレビの時間が多くなっている子等々、やろうとしている、頑張ろうとしているのになかなか行動に表すことができない子がいるかも知れません。そこで、まずは自分の“心”と向き合ってみることを話していただけたらと思います。どうすれば「早寝、早起き」等の一日の生活のリズムをつくることができるか、どうすれば毎日時間を決めて学習に取り組むことができるか、どうすればゲームの時間を守ることができるか等々、“今”を振り返り、「変えなくてはならないところ」を洗い出し、「明日からはこうする」と親子の『約束』として取り組んでみてはと思います。そして、約束したことを絶対に達成してみせる、という強い気持ち(心)をもって行動できることを願っています。



2年生から1年生へプレゼント



1年生を迎える会